

序

この会議録は、1988年11月28日から12月2日まで5日間にわたって開催いたしました「第五世代コンピュータ国際会議1988」(International Conference on Fifth Generation Computer Systems, 1988; FGCS'88)の結果をとりまとめたものであります。

1982年に発足した我が国の第五世代コンピュータ・プロジェクトはICOTを中心に順調に進展しています。

プロジェクトは既に中期計画(1985年～1988年)も最終年度となり、前期に行われた基本技術開発で得られた多くの研究成果を基に、第五世代コンピュータのプロトタイプシステムを構成する主要なサブシステムの研究開発を行っています。

このような状況を背景にして過去2回の会議FGCS'81とFGCS'84に引き続き、ICOTの中期研究活動の現状とその結果を報告し、併せて、国内外の多くの著名な学者、一流の研究者、企業・政府関係の有識者が世界中から参集し、研究成果の発表、意見の交換を行うことを目的として、FGCS'88を開催いたしました。

今回の会議は5日間で、前半2日間をICOTの研究開発成果発表、国内外のプロジェクト有識者によるパネル討論、著名学者による招待講演など、後半3日間ではテクニカルセッションでの招待論文や投稿論文の発表、パネル討論を行い、第五世代コンピュータの研究開発に関連する最先端分野での討論を深め多くの成果を納めることが出来ました。

又、今回の会議には、64台の要素プロセッサからなる「マルチPSIシステム」及びその上での動作する「並列推論マシン用OS(PIMOS)」など中期の研究成果に関する多数のデモを実施しました。

この会議録が我が国における第五世代コンピュータの研究開発の現状を理解する上で有益であるばかりでなく、諸外国におけるFGCS関連の最先端技術を把握し、一層ご理解いただく上で有益な資料となることを念願しております。

本国際会議のための準備や開催に当りまして、通商産業省はじめ、関係諸機関ならびに実行委員各位、関係各位に多大のご指導ご協力を賜りましたので、ここに深く感謝の意を表する次第であります。

平成元年3月

財団法人 新世代コンピュータ技術開発機構

理事長 三田 勝茂